



子どもたちの大好きな冬休みに入りました。年末年始の様々な行事を通して、家族の結び付きや地域での交流が深まる時でもあります。今年もお世話になりました。よいお年をお迎えください。今号は、北教育事務所管内で行った事業について、紹介します。



市町村教育委員会計画訪問

教育委員会訪問では、「北の社会教育推進の重点」について、各教育委員会から出された自己評価を基に協議題に添って話し合いを行いました。

どの市町村でも、「北の重点」が周知されており、地域性を生かした実践がなされていました。協議では、それぞれの実態に合わせた、より具体的な生涯学習・社会教育の在り方について意見交換することで、学校・家庭・地域の協働の方向性を確認することができました。

また、他市町村の取組を紹介する機会ともなり、「次の事業展開や課題解決の糸口が見付かり、よかった。」という感想もいただきました。

北の社会教育推進の重点

持続可能な地域づくりにつながる社会教育

市町村では ~学びの場を核とした協働による地域づくりを目指して~



各市町村は「学校・家庭・地域の連携・協働」に向けた様々な取組を展開していました。地域づくりに関わる人たちの熱心な活動の様子に触れると同時に、若い世代をどう巻き込んでいくかという共通した悩みがあることも分かりました。学校で取り組むふるさと教育や地域に根ざしたキャリア教育の推進がふるさとを支える人づくりとなること、「つながり」を大事にすることなどを改めて学ぶことができました。



北鹿地区社会教育関係委員等研修会 10/18

北鹿地区社会教育委員連絡協議会の主催で、標記の研修会が開催されました。北鹿地区の社会教育や公民館運営に関わる委員、約80名が参集し、社会教育の在り方について熱心に研修しました。

大館市生涯学習奨励員協議会会長・野村裕子氏による「被災地交流事業、地域コーディネーターの活動」、北秋田市おはなしピッコロ代表・保坂洋子氏による「地域の中でのボランティア」の各実践発表とあきた杜の宅急便代表取締役・栗山奈津子氏による「主役は山の名人～ここにしかない価値を発信～」の講演がありました。参加者からたくさんの質問、意見や感想が出され、大きな成果を上げました。



地域素材を紙芝居に

～「木割観音」

山菜ガール・栗山氏

多くの方々が、それぞれの地域のよさを生かした活動にエネルギーに取り組まれていることを知り感服しました。大館市の野村氏は「子の心は大人の心が流れ込むことで育まれる」と話されましたが、それを根底に活動されている方々の思いが優しく伝わってきました。

平成28年度 教育留学推進事業

秋田県では、今年度、北秋田市の職員住宅と合川学童研修センターを拠点として、「秋田型」教育留学に取り組んでいます。

12月までに、8人（小学4年生～中学2年生）の

留学生が秋田の教育を体感しました。時期や期間はそれぞれ異なりますが、平日は北秋田市立合川小学校、合川中学校で学校生活を、休日は自然体験などの活動を行うなど、有意義な留学生を送りました。

また、他県との夏休み期間のズレを活用して「短期チャレンジ留学Ⅰ」（8/25～30）を行いました。首都圏等を中心に25名の子どもたちが参加し、授業体験、筏作りと筏体験、座禅、野外炊飯などを楽しみました。「短期チャレンジ留学Ⅱ」（12/25～29）にも16名の参加者があり、授業、雪遊びやスキーなどを体験しています。

秋田の教育を体感してみませんか

秋田で学ぼう！教育留学推進事業 「秋田型」教育留学の特徴

- 子ども一人一人に合わせた「オーダーメイド」の受け入れ
- 実際に学校で児童生徒受け入れ（見学だけでなく授業参加）
- 学び・体験・交流を総合的にコーディネートする社会教育主事の配置
- 秋田の地域性を生かした体験活動も重視（農業や自然体験等）



北欧の杜での芋掘り



学校生活を満喫
合川小学校で

参加者感想

○学力トップクラスの秋田の授業を受けてみたい憧れがあった。○みんなで学び合う授業が楽しかった。○家庭学習を毎日続けるのが大変だった。○たくさんの人が手を挙げて大きな声で発表していてびっくりした。○集中して話を聞いていて、その聞き方を学んだ。○自然を体いっぱい感じた。○自然がいっぱいで、森吉山登山をしてご来光を仰ぐことができた。○（秋田弁をかなりマスターし）お父さんとお母さんの言葉が変に聞こえた。

放課後キラキラクラブ



大館市立長木小学校の余裕教室を活用した、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体型

「キラキラクラブ」を見学しました。

子どもたちは、ここを放課後の生活の場として、校庭では虫取り、砂場や遊具で、室内では将棋やゲーム盤で、生き生きと遊んでいました。指導員の皆さんに見守られ、安心して遊んでいる様子が覗えました。黒板には、保護者の迎えの時刻が掲示され、家庭との連携を大切にされていました。



リレーコラム

今回は「心を伝えること」

～家族を笑顔にする10のヒント～

あきたのそこちから！

か

感謝の気持ちを伝えよう！ 「ありがとう」が育む思いやり

- 「ありがとう」と言われるうれしさを実感すれば、人にも感謝を伝えられます。家族で、日頃から「ありがとう」と言って感謝の気持ちを伝えましょう。
- 「ごめんなさい」も素直に言えるようになりたい大事な言葉です。
- 心を込めた言葉は相手に伝わり思いやりの心も育っていきます。



言葉は意味を伝えるだけでなく、心を伝えるものです。温かい言葉は、相手の心を和ませるとともに、自分の心を優しい気持ちにしてくれます。緊張がホッと緩む思いやりの言葉です。家族であれば、黙っていても気持ちが通じることもありますが、一緒に暮らす家族を笑顔にするために温かい言葉を交わしたいものです。親が見本をみせてあげましょう。「ありがとう」も「ごめんね」も心が温くなる魔法の言葉です。